

令和7年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号:8月30日(土)③

担当部局・担当課名:教育委員会教育みらい室

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業	評価結果	一部改善
-----	-------------------	------	------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・担い手が不足しているスクールソーシャルワーカー（以下、SSW）について、無資格者（教員OBなど）へのリスクリンクや研修といった人材育成・確保の余地があるのではないか。
- ・SSWが対応する時間も限られていることから、LINE相談などと組み合わせ、オンライン面談も考えられる。その場合、オンライン対応できる環境の整備（防音ブースなど）に係る予算化も考えられるのではないか。
- ・SSWの仕事・知識を現場教員に共有し、学びを得ることは重要。また、AIなどのデジタル技術やNPOなどの外部リソースを補完的に活用することを検討すべきではないか。

【県民評価者の意見】

- ・不登校の児童生徒の居場所は多様化しており、民間施設（フリースクール）との連携がもっとできるようになれば、保護者も助かるのではないか。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数

21

評価区分	行政の関与不要	役割分担見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり・拡充
	1	1	5	10	4 (現行0、拡充4)
県民評価者の主なコメント	【一部改善】				
	<ul style="list-style-type: none"> ・無資格者のスキルアップや研修の機会を増やすことも考えてはどうか。 ・県や市町村の保健師OBや養護教諭OBへのリクルートを検討してはどうか。 ・ベンチャー企業等と協業するなど、定期的なアンケートを生徒に取って、AIがピックアップした生徒の傾向や情報を担任に提示する仕組みを用意してはどうか。 ・人と人との問題はAIやデジタルだけで対応するのには限界がある。人間が関わるべきところは、その業務に集中できるようにすべき。 ・SSWが社会とのつながりを目的としているのであれば、元教員だけではなく、多角的な視点で民間企業出身の人を採用することも考えられるのではないか。 				
上記以外	【抜本的改善】				
	<ul style="list-style-type: none"> ・AIツールを用いてSSWがいじめ等の問題行動の把握をしやすくしてはどうか。 ・スクールカウンセラー（SC）、SSWの相談を実際に行った不登校生本人やその保護者からアンケートをとるなど、相談・支援が問題解決に結び付いているか調査する必要があるのではないか。 				
	【現行どおり・拡充】				
	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人等を活用してはどうか。 ・なり手不足は否めないが、教員の業務負担の軽減のためにも拡充すべきではないか。 ・SSWの増員の予算に加え、AI・デジタルの活用のための予算も必要なのではないか。 				
	【行政の関与不要】				
	<ul style="list-style-type: none"> ・AIチャットボットによる自己解決やセルフメディケーションを視野に入れるべきではないか。 				
	【役割分担見直し】				
	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県をあげて、SSW資格の取得のしやすさの向上（大学で取得可能等）、就職先の創出が必要なのではないか。 				

事業番号:8月30日(土)③

担当部局・担当課名:教育委員会教育みらい室

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業			評価結果	一部改善
【参考】委員による評価			委員総数	4	
評価区分	行政の関与不要	役割分担見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり・拡充
	0	0	0	2	2